

アグリ筑西 2022 10月号

実りの秋になりました。
収穫等で忙しい時期ですが、体調管理には
十分に気をつけて作業しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

抑制トマトの出荷が最盛期

筑西市、桜川市のトマトは、主に抑制栽培がおこなわれており、7月上旬に定植、8月下旬から出荷が始まりました。現在、トマトの出荷最盛期を迎えています。

普及センターでは、JA北つくば東部トマト選果場部会青年部の皆さんとともに、優良品種の選定試験や暑さ対策試験などを実施しています。

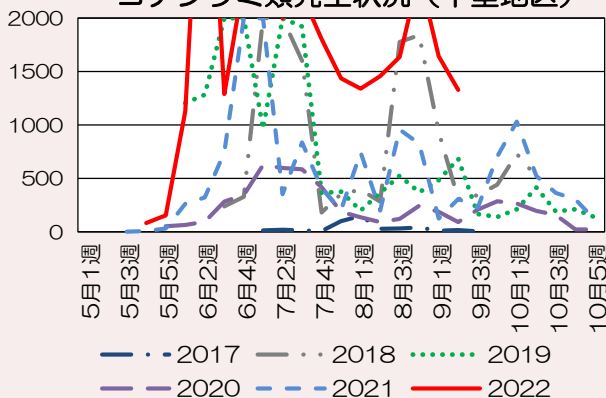
⚠ 病害虫の発生に注意 ⚠

普及センターでは、東部トマト選果場部会青年部の皆さんとともに、抑制トマトで主に問題となっているトマト黄化葉巻病対策として、毎年、協和地区の3か所で黄化葉巻病媒介昆虫であるコナジラミ類の発生状況を調査しています。今年は6月下旬に雨が少なく猛暑となり、コナジラミ類の発生が急激に増加し、過去最高の発生数を記録しました。現在は6月の頃よりは減少したものの相変わらず、過去最高を記録し続けています。黄化葉巻病も一部で発生が確認されており、引き続き注意が必要です。

また、細菌病やチョウ目害虫の発生も確認されているので、引き続き病害虫防除を心掛けてください。



コナジラミ類発生状況（十里地区）



キュウリ（協和地区）銘柄産地指定として再認定！！



キュウリ銘柄産地に指定されている「協和地区のキュウリ」が今回11度目の再認定となりました。

平成5年度に銘柄産地として指定され、高い技術力による安定した品質と出荷量により、市場からの高い評価も得られています。

交付式には協和胡瓜部会長、筑西市、JA北つくば、県西農林事務所等の生産者、関係機関が出席し、県西農林事務所長から指定証が授与されました。

協和胡瓜部会の池田部会長からは、「今後も産地一丸となって品質の良いキュウリの安定生産を目指す」との決意が表明されました。

当普及センターでは、今後も産地の生産力の向上に向けて、関係機関と一体となって支援します。



筑西地域イチゴ研修会を開催しました！



7月28日に、筑西地域イチゴ研修会を開催し、イチゴ生産者、JA担当者が21名参加しました。今回、筑西地域のイチゴ産地振興・担い手育成のため、生産組織の枠を超えた研修会となっています。

研修会では、定植前後のイチゴを栽培する上で理解しておくべき生理生態ポイント、収量向上につながる環境管理について、農業総合センター石井佳美専門技術指導員より説明がありました。また、前作の現地試験結果、クラウン冷却によるイチゴの早期出荷技術の検討、イチゴ育苗時の株元灌水チューブによる炭疽病防除技術の検討について、普及センターより説明しました。生産者からは、「今後も継続してほしい」等の感想がありました。今後の研修会開催については、アンケート結果を検討する予定です。



病害虫発生予察情報

出典：「病害虫発生予報 9月号」（茨城県病害虫防除所）

※最新情報は茨城県病害虫防除所HPをご覧ください。

作物	病害虫名	発生量	発生地域	注意すべき事項
大豆	チョウ目幼虫	平年並み～やや多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> 圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除する。 薬剤散布は、薬液が葉裏や莢にもよくかかるよう、十分な量で丁寧に行なう。
サツマイモ	ナカジロシタバ	やや多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> 若齢～中齢幼虫の時期の防除の徹底 幼虫が生息する葉裏まで薬剤散布する。
ナシ	ナシヒメシンクイ	多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> 被害果を見つけた場合は速やかに処分し、成虫の発生を防ぐ。 薬剤散布は丁寧に行い、ほ場の周縁部等、薬液のかかりにくい部分は補正散布を行う。
果樹共通	果樹カメムシ類	やや多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> カメムシ類を確認した場合は、活動の鈍い早朝に薬剤散布を行なう。
秋冬ネギ	軟腐病	やや多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> 圃場の排水を確実にし、土壌の多湿や湛水を防止 本病の病原菌は傷口から感染するため、管理作業で葉等に傷をつけないようにする。



ナカジロシタバ (幼虫)



ナシヒメシンクイ (成虫)



チャバネアオカメムシ



写真出典：
茨城県病害虫防除所

農業参入等支援センター事業紹介

農業参入等支援センターでは、農業経営者の課題解決のために専門家派遣等のサポートを行っています。円滑な経営継承、農業経営の法人化、事業計画の作成など、担い手が抱える経営上の課題に対して、経営相談・経営診断を行うために、専門家の派遣・巡回指導等の伴走型支援を1～4回程度実施します。

例①法人化したい→中小企業診断士、税理士、司法書士

例②従業員の確保や定着に向けた支援→社会保険労務士

今年度からは簡易な申請で、専門家を1回限り派遣する「クイック専門家派遣事業」も始まりました。お問い合わせは普及センター（担当：遠藤）までご連絡ください。



普及員のひとりごと ～津坂早織～

この4月に1年半の育休から復帰し、野菜を担当させてもらっています。

子供も色々なものが食べられるようになってきたので、県西地域の多彩な農産物を知って、触れて、たくさん食べさせたいと思います。